

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	19	学校名	宇都宮市立 御 幸 小学校
-----	---------------	------	----	-----	---------------

令和3年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

自ら学び 自他のよさを生かし合いながら たくましく生き抜く児童の育成

【合言葉】かしこく やさしく たくましく 笑顔いっぱい みゆきっ子

(2) 具体目標

【目指す児童像】

・自ら考え学び合う子 ・自他のよさを認め合う子 ・健康でねばり強い子

2 学校経営の理念

学校、家庭・地域が教育ビジョンを共有し、連携・協働しながら信頼関係を構築し、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する。

【目指す学校像】

- ・児童が安心して登校し、自ら学びともに活動する楽しさを味わえる学校
- ・教職員が研修や実践に励み、児童の成長を喜び合える学校
- ・学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の学校として誇りに思える学校

3 学校経営方針

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

～自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成～

- (1) 知・徳・体の調和とキャリア教育を核とした特色ある教育課程を編成する。
- (2) 家庭や地域と連携・協働し、安心安全な教育環境づくりや協働的な教育活動の充実に努める。
- (3) 特別支援教育の視点を踏まえ、個に応じた指導を基盤とし、一人一人のよさを認めながら主体的な態度を育む指導の充実に努める。
- (4) 教員の授業力や学級経営力、教職員のICT活用力の向上を図り、チーム力を高める。
- (5) 教育活動の質の向上と校務の効率化を目指し、カリキュラム・マネジメントを推進する。

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ① 教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領、第2次宇都宮市学校教育スタンダード並びに令和3年度教育の重点を踏まえ、児童の心身の発達段階や特性、学校や地域の実態を考慮し、知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成する。その際、小中一貫教育等との関連を図る。
- ② キャリア教育を核として、教科等横断的な視点並びに家庭や地域との連携・協働を図りながら、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成する。
- ③ カリキュラム・マネジメントに努め、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保し、改善を図りながら、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上と校務の効率化を図る。

(2) 具体方針

- ① 学習や生活への主体的な態度を育むため、キャリア教育との関連を図り、「なりたい自分になろう！みゆきっ子パワーアッププロジェクト」として推進する。また、これらの活動を本校の特

色と位置付け、「特色ある学校づくり」「頑張る学校プロジェクト」と連動して教育活動を展開する。
ア 目指す児童像の実現に向け、それぞれの具体策に取り組むこととする。その際に、視点ごとに全学年で取り組む共通目標や学級での目標を、「みゆきっ子パワーアップ」として設定する。

(学校全体の共通目標)

- ・自ら考え学び合う子 : 聞く・話す
- ・自他のよさを認め合う子 : あいさつ、自他のよさ
- ・健康でねばり強い子 : 運動・健康

イ 「みゆきっ子パワーアップアンケート」を定期的実施し、児童自らが生活や学級について振り返り、改善策を実践することで、主体的・協働的に課題を解決する力の育成に努める。そのための時間を、学級活動に位置付け、自校化を図る。

ウ キャリア教育については、各教科、特別活動、総合的な学習の時間、道徳との横断的な関連の中で、発達段階に応じて重点化を図り、年間指導計画に位置付ける。特に、特別活動においては、自己のよさや協力する大切さ、社会での役割等について、

エ 家庭や地域と連携・協働しながら、児童のキャリア発達を促していく。

- ② 自己肯定感の向上、多様性を認め合う学級集団づくりと主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の双方から学力向上に取り組む。
- ③ 言語活用の充実やICTの活用を進め、授業改善に努めるとともに、社会との関連を図りながら問題発見・解決能力等の育成を図り、学習の基盤としての資質・能力の向上に努める。
- ④ 各種調査や振り返り等を活用し、短期・中期的に教育課程に関する評価を行い、改善に努める。
- ⑤ 教職員の資質・能力の向上を図るため、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善やICTの活用等に係る研修の時間を確保する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校経営

① 児童の安心・安全な教育環境づくりに努める。

- ・ 感染症に係る正しい理解と対応に努め、安心安全な生活を送るための実践力を育成する。
- ・ 互いのよさを認め合い、発揮し合えるよう、学級経営の充実を図る。

○② キャリア教育を核とした「みゆきっ子パワーアッププロジェクト」を着実に推進する。

- ・ 「みゆきっ子パワーアップ」として、知・徳・体の視点ごとに学校の共通目標や学級目標を設定し、「みゆきっ子パワーアップアンケート」を定期的実施することにより、児童が自分の生活や学級を振り返り、より主体的・協働的に取り組む態度を養う。

③ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教職員の資質・能力の向上に努める。

- ・ 各教科等での言語活動の充実やICTの効果的な活用に努め、宇都宮モデルの質的な向上を図る。

④ 家庭や地域との連携・協働活動の充実を努める。

- ・ 児童の発達段階や学習内容を踏まえ、効果的・効率的・組織的な視点からボランティア活動を見直し、活動の充実を図る。

⑤ カリキュラム・マネジメントを推進する。

- ・ 短期的・中期的な視点で、教育活動の質的向上や業務の効率化を図る。

(2) 学習指導

① 学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図る。

② 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。

③ 特別支援教育の視点を踏まえ、個に応じた指導の充実を努める。

④ 学校図書館司書やボランティア等と連携し、読書活動の充実を図る。

(3) 児童指導

- ① 集団生活マナーの徹底を図る。
- ② 多様性を認め合える集団づくりに努める。
- ③ 道徳科を核とした宮っこ心の教育の推進に努める。
- ④ いじめ・不登校の未然防止，早期発見・対応に努める。

(4) 健康・体力

- ① 運動や健康に関心をもち，自ら進んで健康・体力を高めようとする意欲の向上を図る
- ② 教科体育や休み時間等を通して，基礎的な体力・技能の向上を目指す。
- ③ 給食を中心に食育を推進し，食を大切に作る心を育成する。
- ④ 地域等と連携した児童の安全確保に努めるとともに，危険回避能力の向上を目指す。

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 児童一人一人が自分のよさを実感し，主体的に活動に取り組んだり，協働的に課題を解決したりする力を養う。
- ② 地域の様々な人や自然等とのふれあいを通して，地域への関心を高め，愛着を育む。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇

◇① みゆきっ子パワーアッププロジェクトの推進

キャリア教育との関連を図り「みゆきっ子パワーアッププロジェクト」として，3つの視点ごとに，以下の活動に取り組む。その際に，全学年で取り組む共通目標や学級での目標を，「みゆきっ子パワーアップ」として設定し，定期的に「みゆきっ子パワーアップアンケート」を実施することにより，児童の主体的・協働的に課題を解決する力の育成に努める。

ア 「自ら考え学び合う子」

- ・ みゆきっ子学習スタンダードによる学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図る
- ・ 各教科等での言語活動の充実やICT活用能力の向上を図り，宇都宮モデルの質的な向上を図る。

イ 「自他のよさを認め合える子」

- ・ みゆきっ子生活スタンダードによるあいさつや集団生活マナーの徹底を図る。
- ・ 教師の言葉かけ，交流機会の設定や特別活動の充実を図り，認め励ます教育の推進に努める。
- ・ QUを活用し，いじめ・不登校等の未然防止等に努める。

ウ 「健康で粘り強い子」

- ・ スポーツウィークによる運動意欲の向上を図る。
- ・ 体育でのサーキットトレーニングを実施し，基礎的な運動技能の向上を図る。

◇② 学校支援ボランティア活動の充実

- ・ 児童の発達段階や学習内容を踏まえ，効果的・効率的・組織的な視点からボランティア活動を見直し，活動の充実を図る。

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 基本的考え

- ・ 地域協議会やコーディネーターとの定期的な情報共有を図る。
- ・ 児童の発達段階や学習内容を踏まえ，効果的・効率的・組織的な視点からボランティア

活動を見直し、活動の充実を図る。

- ・ 学校、家庭、地域の連携・協働の必要性について情報発信に努め、相互理解を深める。

② 主な取組

- ・ 地域や家庭との連携によるあいさつ運動と登下校指導の充実
- ・ 学校支援ボランティアによる授業や行事、環境整備への支援
例) 読み聞かせ、ミシン、校外学習の補助、トイレ清掃。50 周年プレ事業 など
- ・ 児童の地域行事への参加や地域団体との交流活動の促進
例) 幼保との連携、高齢者団体との交流
- ・ H P や掲示板、各種たより等を活用したボランティアや活動状況の公開促進

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

- ・ 全職員が部会・分科会に所属し、地域学校園の児童生徒の共通課題、重点的に取り組む内容、小中の指導を円滑に接続する方策等を協議し、必要に応じて共同の取組を実施していく。

② 主な取組

- ・ 中学校教諭による乗り入れ授業 ・ 小 6 進学先中学校訪問 ・ 中学生による宮っ子チャレンジ ・ 小中連携あいさつ運動 ・ 鬼怒地域学校園での取組の情報発信

(3) 不登校対策

① 基本的考え

- ・ 日頃から児童を認め励ます雰囲気づくりに努めるとともに、関係機関や保護者と連携しながら、初期対応に努める。
- ・ 不登校児童への組織的・計画的かつ持続可能な支援について保護者と共有しながら進めるとともに、定期的な見直しを図る。

② 主な取組

- ・ 月 1 回の児童の情報共有や年 2 回の Q U 調査を行い、児童の心身の実態把握に努める。
- ・ 校内支援委員会（年 2 回）や校内コーディネーター会議を行い、適切な対応に努める。
- ・ 関係機関や児童生徒指導強化連絡会等との連携を図る。

(4) G I G A スクール構想

① 基本的な考え

- ・ 宇都宮市 G I G A スクール構想に基づき、個々の児童が端末操作に慣れ活用できるよう段階的に取り組む。
- ・ 教職員の I C T 活用に係る研修や I C T 支援員との連携を通して、授業での効果的な活用を図る。

② 主な取組

- ・ 各学年に、情報教育担当を設置し、活用状況や課題等について協議し、全教職員の資質・能力の向上に努める。
- ・ I C T 支援員と連携し、端末操作の習得や授業での効果的な活用について検討を重ねる。

(5) 宇都宮学

① 基本的な考え

- ・ 児童が宇都宮への理解を深め、愛着を育むとともに、よりよい社会づくりに主体的に参画しようとする態度や実践力を養う。

② 主な取組

- ・ 社会科や総合的な学習の時間への位置付けと各教科等との関連を踏まえて実施する。
- ・ 地域の人的・物的資源や関係機関との連携を図り、教育活動の充実を図る。